

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	DX 推進事業		
政策	計画の推進/効率的・安定的な行財政運営ができるまち	担当課	総合政策課
施策①	行政サービスの最適化と利便性向上	電話番号	0193-27-8413
施策②	市民サービスの質の向上	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	DXの推進	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和5年度～令和9年度		
事業の概要			
住民満足度の高い持続可能な地域へ向けて、デジタル技術の利活用による行政サービスの質の向上及び市職員の事務軽減を図るために導入した「書かない窓口」「府内ポータルサイト」等のシステム運用を行うもの。また、様々なサービスの共通の入口となる「スーパーアプリ」の更なる利便性向上へ向けた新規機能開発を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
デジタルの急速な普及に伴い利便性の高い様々なデジタル技術が提供されているが、当市の行政サービスはデジタル化されておらず、その恩恵を受けることができない状況になっている。 また、人口減少に伴う市職員数の減少により、職員一人ひとりが担う業務量が増えている。
目的
デジタル技術の利活用により豊かな市民生活を実現し、住民満足度の高い持続可能な地域の構築を目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
①行政手続きにおいて関連する申請書類データを一括出力する「書かない窓口」の運用②府内のあらゆる情報を一元管理するプラットフォーム及び蓄積される情報への職員用アクセス窓口である府内ポータルサイトの運用③市民のオンライン問合せ窓口であるAIチャットボットの運用④様々な行政サービスの接点を一つにまとめる「スーパーアプリ」の運用及び新規機能開発⑤補助金等のオンライン申請システムの運用
事業費
R 7
35012 千円
R 8
33784 千円
R 9
33784 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
デジタルを活用し、市民の利便性向上、市職員の業務効率の向上に資する事業だと言える。これまで導入してきたシステムやツールの有効性を精査し、今後の継続・利活用の仕方も見据え、民間の専門人材のノウハウを活用し、業務効率の向上に資するように実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	新市庁舎什器等備品購入費		
政策	計画の推進/効率的・安定的な行政財政運営ができるまち	担当課	資産管理課
施策①	行政サービスの最適化と利便性向上	電話番号	0193（27）8429
施策②	新市庁舎の整備	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	新規
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～年度		
事業の概要			
新市庁舎の開庁（令和8年春を予定）に併せ、備品を新調するもの。 業務全般の機能性及び効率性を向上させるほか、職場内コミュニケーションの活性化、情報セキュリティ機能の強化に寄与し、働きやすい職場環境を構築することで、職員の労働環境及び来庁者の環境を総合的に改善し、市民サービスの向上に繋げるもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
現庁舎は躯体のみならず備品類についても全般的に老朽化が著しく、それらが機能的・効率的な職場環境の醸成及びICT化などを阻害する一因になっており、事務効率の低下から市民サービスの低下を招いている。
目的
職員の労働環境及び来庁者の環境を総合的に改善させ、市民サービスの向上に繋げるもの

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
新市庁舎の開庁に併せて什器類等を一部新調する			
事業費			
R 7			
0 千円	R 8	R 9	0 千円
375600 千円			

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
新庁舎に合った機能的な什器を導入することで、職員の業務効率化や働きやすい職場環境を作ることができ、ひいては市民サービスの向上に資すると言える。現在の庁舎で使用されている什器のうち、使用できるものは使用することとし、適正な量の什器を購入されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	新庁舎建設事業		
政策	計画の推進/効率的・安定的な行政財政運営ができるまち	担当課	資産管理課
施策①	行政サービスの最適化と利便性向上	電話番号	0193-27-8429
施策②	新市庁舎の整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和8年度		
事業の概要			
老朽化が著しく市内各所に分散している現在の庁舎を、耐震性を備えた一体型の庁舎とすることで安全性と経済性、市民の利便性を向上させる。また、機能移転に併せて行政サービスの改善も行うとともに、周辺地域の拠点施設及び一時避難場所としての機能を付加し、災害発生時の業務継続性にも配慮した施設整備を実施する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・行政機能の分散化による市民サービスの低下 ・施設の老朽化や狭隘化 ・ I C T 化への対応不足 ・庁舎機能を支える設備、災害対応機能の不足 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインへの課題 ・来庁者用・公用車駐車場の不足
目的

時代のニーズに対応できる一体型庁舎とし、全ての来庁者の利便性が高くなるとともに、市民サービスの向上及び行政事務の効率化が図られる。また、震災の教訓を生かし災害に強い強靭な庁舎とすることで、防災拠点施設として災害対応能力が向上する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・新市庁舎建設（建築／電気／機械）工事 ・新市庁舎建設工事監理業務 ・現庁舎の解体設計と跡地利用の検討 ・現庁舎解体工事 			
事業費			
R 7	R 8	R 9	
4389388 千円	424673 千円	0 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
長年の懸案事項であった庁舎の老朽化や分散化の問題を改善し、耐震性を備えた一体型の庁舎とすることで、安全性を向上させるとともに、住民サービスの利便性向上を図ることができる。また、市内中心部である東部地区の拠点施設として、一次避難場所の確保や業務継続性に配慮した施設整備を行うことで、住民が安心して暮らすことができるまちへつながる。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石斎場運営経費（火葬炉改修工事等）		
政策	計画の推進/効率的・安定的な行政財政運営ができるまち	担当課	生活環境課
施策①	行政サービスの最適化と利便性向上	電話番号	0193-27-8451
施策②	公共施設マネジメントの推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和7年度～令和9年度		
事業の概要			
釜石斎場は市民生活に必要不可欠な施設であることから、稼働を止めることができないよう万全な体制を維持するため、火葬炉の改修工事を実施する。令和8年度から釜石斎場長寿命化整備基本計画に基づき、施設の大規模改修を行う予定。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
釜石斎場の火葬炉は3炉あり、1日4回の火葬に対応している。 火葬場は市民生活に必要不可欠な施設であることから、稼働を止めることができないよう整備を行う必要がある。
目的
火葬を休止させることができないよう、万全の体制を整える。

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
・火葬炉改修工事 ・施設維持のための改修工事			
事業費			
R 7			
5786千円	R 8	R 9	70500千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
市民生活において必要不可欠な事業であることから、定期的なメンテナンスの実施や長寿命化計画に基づき効率的な施設の修繕を実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	合葬墓整備事業		
政策	計画の推進/効率的・安定的な行政財政運営ができるまち	担当課	生活環境課
施策①	行政サービスの最適化と利便性向上	電話番号	27-8451
施策②	公共施設マネジメントの推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	新規
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～年度		
事業の概要			
近年の墓地ニーズの多様化とともに、単身世帯や核家族世帯の増加、少子高齢化の進展に伴って、先祖代々の墓を承継していくことが困難なケースが増加傾向にある。このことから、無縁墓地の増加が懸念されるなど、従来通りの墓地運営が難しい状況となっていることから、合葬墓を整備する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・無縁化が疑われる墓の増加 ・無縁墓の発生により、墓地の荒廃や不法投棄の温床になっている。 ・墓地の承継者がいない方や経済的理由から墓を持てない方から合葬墓の整備に対するニーズがある。
目的
<ul style="list-style-type: none"> ・市営墓地の無縁墓対策を進める。 ・将来の墓地需要や多様化するニーズに応えるため、合葬墓を整備し、安心して暮らせるまちづくりを実現する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
合葬墓の整備			
事業費			
R 7			
0 千円	R 8	R 9	0 千円
4000 千円			

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
対象や規模等を関係者と協議しながら、市民のニーズ調査を実施した上で実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	ふれあい交流センター清風園解体事業		
政策	計画の推進/効率的・安定的な行財政運営ができるまち	担当課	高齢介護福祉課
施策①	行政サービスの最適化と利便性向上	電話番号	22-0178
施策②	公共施設マネジメントの推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和9年度		
事業の概要			
ふれあい交流センター清風園は、昭和48年3月に整備され、高齢者の健康増進や介護予防、子育て支援等の拠点施設として運営してきたが、経年劣化により地震等災害時の危険性が高く利用に適さないことから、令和4年3月31日に供用廃止されている。災害時の倒壊や鳥獣による被害を防ぎ地域の安全を確保するため、解体工事を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
高齢者の健康増進や介護予防、子育て支援、地域交流活動並びにボランティア活動に関する事業を行う拠点施設だが、老朽化、経年劣化により地震等災害時に破損等が発生した場合の危険性が高く利用に適さないため令和4年3月31日に供用廃止された。その後、人の出入りがないため、鳥獣の住みかとなってしまうことで、近隣住民への鳥獣被害発生が懸念される。
目的
供用を廃止し施設を解体することで、災害発生時に建物倒壊等の危険性を排除するとともに、鳥獣の住みかとなる前に解体し、獣害を防止する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
・石綿調査、解体工事設計を行ったうえで、解体工事を実施する。			
事業費			
R 7			
0 千円	R 8	R 9	80000 千円
10120 千円			

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
公共施設のマネジメントのため、用途廃止された公共施設は順次解体を行う必要がある。市全体の公共施設の解体年度は、市の財政状況を踏まえ、公共施設総合管理計画個別計画と連動して解体時期を精査するものとする。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	旧橋野小中学校解体事業		
政策	計画の推進/効率的・安定的な行財政運営ができるまち	担当課	教育委員会 総務課
施策①	行政サービスの最適化と利便性向上	電話番号	22-8832
施策②	公共施設マネジメントの推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和9年度～令和9年度		
事業の概要	老朽化が著しい旧橋野小中学校の校舎及び体育館等を解体し、地域の安全を確保するもの。		

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
老朽化が著しい旧橋野小中学校について、地域住民から早期解体の要望がある。
目的
地域住民等の安全を確保する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動
老朽化が著しい旧橋野小中学校の校舎及び屋内運動場等の解体工事を実施する。
事業費
R 7
0 千円
R 8
0 千円
R 9
4950 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	見直し余地あり
評価結果			
今後、周辺地域に悪影響を及ぼすお恐れがある施設を解体することは、施設の適正な管理及び周辺住民の安全な生活環境の確保につながるため、事業の実施は必要であると判断した。なお、ほかの施設の状況を見ながら、スケジュール検討のこと。			